

推薦：財団法人全日本交通安全協会

悔恨！

ドキュメント交通事故

不注意運転の教訓

—悲惨な結末—

悔恨!不注意運転の教訓

—悲惨な結末—

交通事故は毎日、全国のどこかで起きている。そして、加害者、被害者、その家族たちに悲惨な結末をもたらしている。事故を起こしてから悔やんでも、取り返しがつかないのだ。

「交通ルールを守り交通マナーを身に付ける」ということは口先だけのことではあってならない。運転者自身の心に強く意識づけなければならないことなのだ。

……運転中の「不注意」、これをキーワードに我々はある街に出向き、24時間体制で3週間、交通事故をドキュメントし、その実態を究明した。

今回の取材では、交差点で起きた自転車運転中のお年寄りの死亡事故、幼児の飛び出し事故など人身事故が発生した。これらの交通事故は、安全不確認や一時停止無視、前方不注意など運転者の「不注意」が原因である。

「不注意事故」がなぜ起こるのかを明らかにし、交通事故を起こさないようにするにはどのようにしたらよいかを事故ドキュメントと再現場面で構成し考えていく。

主 な 事 故 例

幼児の飛び出し事故

- 見通しのよい道路で5歳の男の子が突然、飛び出した。ドライバーは、男の子がいることはわかっていた。「まさか横断しないだろう」と思い込んで運転。しかし、事故は起きた。男の子は、顔面裂傷、側頭部打撲で全治3週間。事故の衝撃に泣き叫ぶ。危険予測が欠けていたことが原因だ。

交差点事故

今回の取材では、交差点とその付近の事故が圧倒的に多く、取材件数の半数以上を占めた。すべてが一瞬の不注意がもたらした事故といえる。

- 優先道路を走ってきた普通乗用車が時速30kmで直進してきたところ。右からスクーターが交差点に進入。出合い頭の衝突事故。スクーターが一時停止を無視したことが事故の大きな原因であるが、ドライバーも徐行義務を怠り右方の安全確認が不十分であった。
- 普通乗用車が右折しようとしたところ、前方を走行していた乗用車が自転車を避けようとして右にふくれた。その陰から向かってくるミニバイクに気づかず左側部が接触。車の陰には必ず何かあるという危険予測が欠けていたために起きた事故である。
- 雨の日。軽自動車が一時停止無視で無理に横断。左側面にワンボックスカーが衝突し、さらにその反動で軽自動車は、対向してくる普通乗用車の右フロントに衝突。二重衝突事故である。一時停止無視、徐行義務を怠ったことが事故の原因である。
- 深夜の信号のある交差点。信号無視で横断してきた歩行者に普通乗用車が衝突。人身事故である。歩行者に落ち度がある事故だが、この事故も運転者の危険予測が欠けていた。

直線道路での事故

- 大型二輪車が軽自動車の左側を追い抜いている最中、軽自動車が左車線に進路変更しようとしたところ衝突した。軽自動車の後方安全確認が十分でなかったことが原因だ。

- 軽自動車が右折しようとして停止。対向車線は渋滞中。対向車が停車して進路を空けてくれ、右折しようとしたところ、対向車の陰からの二輪車と衝突。サンキュー事故だ。この事故も、車の陰には必ず何かがあるという危険予測が欠けていたために起きた。

高速道路・玉突き事故

- 渋滞中に起きた玉突き事故。高速道路は数時間、通行不能となった。事故の原因は『ぼんやり運転』であった。渋滞の道は、運転する動作や判断する力を失わせることがある。また、疲労感も高まる。運転者は漫然とした運転に陥りやすい。

カーブの道から川への転落事故

- 川へ転落し、13時間も車内に閉じ込められていた男性。レスキュー隊の救助によりようやく脱出できた。原因を究明する。

不注意が悲惨な結果と悔恨をもたらしたお年寄りの人身事故

- 73歳のお年寄りは楽しみの一つである家庭菜園へいつものように自転車で収穫に出かけた。26歳の男性もいつものように車で買い物に出かけた。そして、その帰り道……。黄信号と赤信号の変わり目、交差点で両者は衝突した。意識のないお年寄りは、家族とともに病院へ搬送。残念ながら、救急車の中でお年寄りは息を引き取った。……お年寄りが家庭菜園で収穫した旬の野菜は食卓に上ることはもう二度とない。26歳の男性は、業務上過失致死罪で逮捕。一瞬の不注意が悲惨な結果となり、男性運転者には生涯続く悔恨を残した。
- 今日も警察による一斉取締りが行われている。交通事故を未然に防ぐために。
- 不注意が悲痛な悔恨とならないようにと、お年寄りの死亡事故現場の供花がわたしたちに警告している。

取 扱:

有限
会社

博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31-220号

TEL. (092)741-0306 (代表)

FAX. (092)741-6628